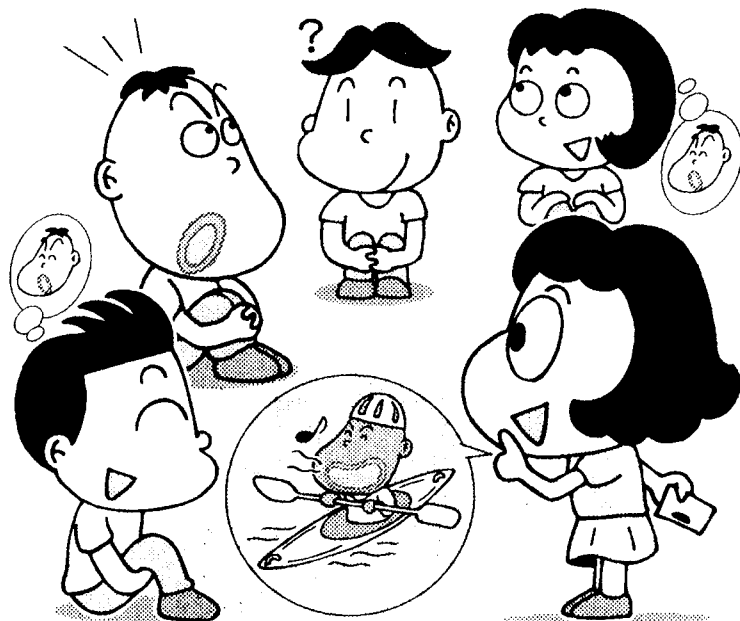


あそびのししぴ



誰の思い出話かな？

楽しかった夏休み

会議などで意見を聞かれ、楽しくおしゃべりができます
自分の考えに自信があっても よね。

大勢の人の前で話すことが苦
手な人は多いものです。でも、
二、三人の仲間内であれば、
自己開示する遊びです。初め
て会う集団の中では、なかな

かうまく話せないかもしれま
せんが、お友達の間でも借りて、
自己紹介を兼ねながら話して
みましょう。きつと、いろん
な人の体験や自分と似た体験
と出合えるはずですよ。ただし、
人の話に創作話を加えてはい
けませんよ。

【人数】 20—30人

【場所】 どこでも

【道具】 名札

【遊び方】 ①胸に付けていた名札を外し、手に
持って2人組をつくる。

②2人は交互に夏休みの楽しい思い出話をする。
話し終わったら、名札を交換して別れる。

③新しい2人組をつくり、再びそれぞれ夏休みの
思い出話を交換。今度は自分の体験ではなく、先に
名札を交換した人の体験談をその人に代わって忠実
に伝える。伝え終わったらまた名札を交換し別れる。

④同じことを繰り返す。3回名札を取り換えた人
は輪になって座る。

⑤全員が座ったら、最初に座った人が名札を見せ
ずに（名札の持ち主の）思い出話を始める。残りの
人はそれが誰の名札なのかを考える。しばらくして
発表者は名札の人物の名を明かす。

⑥明かされた人はその場に立ち上がる。名札を返
してもらい、話の補足や修正をする。続いてその人
が今持っている名札の人の話をみんなの前で発表。
同様にして全員が発表し終わったらゲーム終了。

九州あそびの研究所・中島宏所長
問い合わせは092 (882) 0363